



# 三条ロータリークラブ週報

1986. 12. 31  
No. 1490  
No. 27

ROTARY BRINGS HOPE

ロータリーは  希望をもたらす

国際ロータリー会長 M. A. T. カパラス 第256地区ガバナー 藤田 説量 (三条)

会長—日戸 平太 幹事—上木 六治 SAA—外山 雅也

例会日 毎週水曜日 12:30

例会場 三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店 (TEL 34-3311)

事務局 三条市旭町2-5-10 (TEL 35-3477)



出席率: 会員 66名中 39名 : 先々週出席率: 92.42% (前年同期 87.32%)

今日のお花:

ヴィジター: 三条南より 田中康雄君

ゲスト:

先週のメイクアップ: 12/25 加茂へ 藤田紘一君、岩井和夫君

12/26 新潟東へ 斎藤権八君

12/29 三条南へ 五十嵐総一君、五十嵐昭一君

12/30 三条北へ 野村竹三郎君、山本福七君、斎藤弘文君

## 会長挨拶: 日戸会長

1986年の当クラブのホストによる行事。2月23日—会長エレクト研修セミナー、奇しくもロータリー創立記念日、世界理解と平和の日。9月14、15日—ローターアクト年次大会。10月25、26日—第256地区年次大会。この模様は先週12月24日の例会で広瀬さんからTVビデオで再現して頂いた。「この会場は設備は悪いが、ホストロータリアンの心が温かい」との群馬のロータリアンの温かい言葉に感謝したい。

4、5、6、7月と栄町ロータリークラブ設立に奔走するも、今年度中は無理と判断し、三条北クラブの創立に意を注ぐ。12月14日—北ロータリークラブ創立総会。12月17日(水)—藤田ガバナー公式訪問。12月29日(月)—一年交換学生とStay familyの会を、地区担当委員会と共催。当クラブ交換学生エミーを含め、学生一人一人に新年からの一層の充実した生活を期待。

旧くは盆、暮勘定でありました。大三十日は、云わば関ヶ原、天下分け目の日、臍を決して



掛金を取りにいたり、居留守を使ったり……「大みそか口ばかりよくまわるなり」、「大みそか鏡みていて叱られる」若奥さん娘さんは大奥様の大みそかの忙しい気も知らないで……。

61年12月31日「大みそかロータリーに出て賞められる」。よいお年を。

#### 幹事報告： 上木幹事

- ・ドイツ・ミュンヘン国際大会の御案内 1987年6月7～10日
- ・ガバナーより 公式訪問御礼
- ・国際ロータリー日本支局より 1ドル156円適用
- ・ガバナー事務所より 日韓親善会議協賛金のお祝い 1人当り 200円 1月末日まで
- ・いからしの里より 広報誌 あやの前
- ・五泉ロータリークラブより 公式訪問報告書

#### ニコニコBOX ￥22,000



- 近藤(与)君 長い入院、手術、療養、この間大変みな様のお世話になりました。厚くお礼申し上げます。
- 鈴木君 ロータリー60年史無料配布して頂き、有難うございました。
- 渡辺(惣)君 } お花をいただいて居りますので。  
松川君 }
- 中條君 12月24日付でR Iより三条北RC正式に認承されました。藤田ガバナー、日戸会長さん始め、会員諸兄に厚くお礼申し上げます。ロイヤルホテルで火曜日ですので近藤与助さん始め、皆様の御越しをお待ちしています。
- 渡辺(宏)君 本年は息子の婚礼、初孫の出産、他色々多忙でしたが良い年でした。
- 熊倉君 今日、エミーが私の家に遊びに来てくれました。
- 堀川君 藤田ガバナー、日戸会長、五十嵐国際奉仕副委員長、川俣君から参加していただいて、地区交換学生の集いを三条で開催させていただきました。
- 斎藤(弘)君 今年は大変お世話になりました。昭和62年が明るい年である事を期待致します。
- 川又君 我が大将、近藤与助さんの顔が見られ大変うれしいです。
- 森井君 お元気になられた近藤さんのお顔を伺い、嬉しく思います。三条クラブの皆さん今年一年ありがとうございました。
- 松縄君 近藤さんの御回復お喜び申し上げます。
- 板屋越君 本年中は大変お世話になりました。来年もよろしく願います。

伊藤君 昨年12月に入院しました。今年は健康に恵まれ有難いと思っております。どうぞ来年皆様には良いお年を。お世話様になりました。

藤田(紘)君 今年最後の例会に出席できました。来年も皆様の健康を祈念致します。

加藤君 近藤先輩の病氣回復を御祝して。

#### ポリオ・プラスBOX ￥10,000

藤田(説)君 公式訪問を無事完了出来ました。皆様の御支援に感謝致します。

#### 藤田ガバナー

お陰様で78クラブの公式訪問を無事終わらせて頂きました。ご支援に対して厚くお礼を申し上げます。

一番恐れましたことは途中でダウンをして色々ご迷惑をお掛けする、その可能性が多分にある体質でありますので、先ず病気になること、声が出なくなると話が出来ませんので、声が喋れない様に出なくならない様に気を使ったのであります。

私共の世界に眉毛を惜しまないと云う言葉があります。これは声を出して説法を致しますと心臓が弱る、心臓が弱りますと眉毛が落ちて来る。ですから眉毛を惜しまないということは、心臓の痛むのを恐れないで説法を続けるという意味であります。声が出るということは健康の証であります。そういう声の出なくなるのを恐れて私なりに自重自戒を致しまして、それでダウンする事なく感謝しておるものであります。

公式訪問で色々なクラブがあり色々なお話を承りました。私は公式訪問を終わりますと評価を致しましてR I支局へ送るわけですが、公式訪問が終わりましたから私に対する評価というものが返って来るであろうと覚悟しております。非常に公式訪問アレルギーのクラブがございまして、非常に緊張しておられるクラブもございまして。バスターガバナーに叱られて公式訪問を途中で止めるとか云ったクラブもあった様ですが、私は公式訪問では、そのクラブに対し評価をすることだけが目的ではないのであって、これからどう云う風な方向に活躍出来るのか、どう云った風に方向転換をして行ったら良いのかと云うことを、アドバイス出来れば私としては本望だと考えてお話をして廻ったものであります。公式訪問のアレルギーのあるクラブはガバナーと分区代理が帰りますと、「バカナーが帰ったし、文句代理が帰ったから今度はゆっくり一杯やろうよ」と帰ったと思ったガバナーに聞かれたと云う話が或るクラブでもございましたが、そういう私に対するガバナーの評価というものが返って来ると云うことを覚悟しておるわけであります。またの機会に色々な話が出来ると思います。

今回の週報に私の話を載せて頂きましたが、言葉として理解が出来ない処がありますので訂正をさせて頂きます。その辺が異っておりますと意味が異って参りますので申し上げます。



◦ 4 頁下から15行目

誤 い生まれ変わりで躄と云う言葉がありますし、先達と云う言葉があります。

正 い生まれ変わりで脱皮と云う言葉がありますし、蟬脱と云う言葉があります。

◦ 4 頁下から6 行目

誤 人生の目標というものが財産を造ることも家を建てることも位で自身を極める

正 人生の目標というものが財産を造ることも家を建てることも位で人身を極める

◦ 5 頁上から10行目

誤 ろう。西郷南洲が皆様ご存知のように、子孫の為に

正 ろう。西郷南洲が皆様ご存知のように、児孫の為に

◦ 5 頁上から11行目より

誤 か、それは西郷南洲の気持ちが詩の中に謳われております様に、丈夫は玉砕するとも彼等に全く姿を望む可きものではない。彼等の援軍は人が

正 か、それは西郷南洲の気持ちが詩の中に謳われております様に、丈夫は玉砕するとも瓦に全く姿を望む可きものではない。我家の遺訓は人が

---

次 週 例 会    1月7日    クラブアッセンブリー

---

次々週例会    1月14日    卓話 谷村憲一会員

---